

## 引用文献

- 1) 坂田三允編 (2004). 精神看護エクスペール 3 身体合併症の看護. p. 39. 中山書店.
- 2) 同上書 p. 44.
- 3) 河野健太郎、寺尾岳 (2011). 医薬原性精神障害, 診断と治療. Vol. 99. No. 6. pp. 1065-1071.
- 4) 川合眞一編 (2009). ステロイドの使い方のコツ. pp. 86-93. 文光堂.
- 5) 相澤裕 (2012). 透析中の合併症の有無, 透析ケア. Vol. 18. No. 2. pp. 24-25.
- 6) 前掲書<sup>1)</sup> p. 47.
- 7) 前掲書<sup>1)</sup> p. 47.
- 8) 村田望、野口峰子、道場啓子、中嶋桂子 (2011). 入院化学療法をうける肺がん患者の思いについて. 日本看護学会論文集:看護総合, 41 号 . pp. 391-394.
- 9) 島村珠枝、田口敦子、小林小百合、ほか (2010). 多剤耐性結核入院患者の病気の受け止めと入院生活で感じていること. 日本看護科学会誌, Vol. 30. No. 2. pp. 3-12.
- 10) 前掲書<sup>1)</sup> p. 53.
- 11) 國澤正寛、津田真、濱元康子、ほか (2005). リエゾン精神医学の現状と課題. 精神医学, Vol. 47. No. 8. p. 829.
- 12) 岸泰宏 (2008). 精神疾患と身体疾患の合併 臨床的・医療経済的インパクトならびにその治療システム. 日本医科大学医学会誌, Vol. 4. No. 4. pp. 176.
- 13) 同上
- 14) 同上
- 15) 富田裕一郎 (2012). がん患者の精神症状の評価法と治療法. 心身医学, Vol. 52. No. 12. pp. 1102-1109.
- 16) 林寛之 (2012). 日常診療に役立つ精神症状への対応 一般救急における精神症状への対応. 臨床と研究, Vol. 89. No. 9. p. 1149.
- 17) 辻美江、山田清文 (2010). 統合失調症と生活習慣 メタボリックシンドローム治療薬で注意すべき点. Schizophrenia Frontier, Vol. 11. No. 1. pp. 46-51.
- 18) 渡邊純蔵、鈴木雄太郎、染矢俊幸 (2010). 統合失調症と生活習慣 統合失調症とメタボリックシンドローム. Schizophrenia Frontier, Vol. 11. No. 1. pp. 7-12.
- 19) 石井敏弘 (2003). 自殺に関する研究の現状. 保健医療科学, Vol. 52. No. 4. pp. 261-271.
- 20) 三浦貞則編 (1984). リエゾン精神医学 包括的医療の実践. p. 3. 医歯薬出版株式会社.

- 21) 前掲論文<sup>12)</sup> pp. 176.
- 22) 前掲論文<sup>12)</sup> pp. 176.
- 23) 前掲論文<sup>12)</sup> pp. 176.
- 24) 前掲論文<sup>12)</sup> pp. 176.
- 25) 前掲論文<sup>12)</sup> pp. 176.
- 26) 大西秀樹 (2009). いかに精神症状に対応するかー適応障害とうつ病を中心にー なぜ精神症状への対応が必要なのか. 緩和ケア, Vol. 19. No. 3. p. 203.
- 27) Colleoni M, Mandala M, Peruzzotti G, et al (2000). Depression and degree of acceptance of adjuvant cytotoxic drugs. Lancet, 356. pp. 1326-1327.
- 28) 堀田秀樹、朝田隆 (2012). 日常診療に役立つ精神症状への対応 リハビリテーションにおける精神症状への対応. 臨床と研究, Vol. 89. No. 9. 1227-1231.
- 29) 吉川栄省 (2008). オンコロジーエマージェンシーへの対応 がん医療において速やかな対処が必要な精神症状について. 癌と化学療法, Vol. 35. No. 13. p. 2326.
- 30) 前掲論文<sup>26)</sup> p. 203.
- 31) 前掲論文<sup>29)</sup> p. 2328.
- 32) 前掲論文<sup>26)</sup> p. 203.
- 33) 前掲論文<sup>11)</sup> p. 828.
- 34) 前掲論文<sup>11)</sup> p. 828.
- 35) 前掲論文<sup>12)</sup> p. 177.
- 36) 前掲論文<sup>11)</sup> p. 828.
- 37) 前掲論文<sup>12)</sup> p. 177.
- 38) 前掲論文<sup>11)</sup> p. 828.
- 39) Rost K, Kashner TM, Smith GR. (1994). Effectiveness of Psychiatric intervention with somatization disorder patients : Improved outcomes at reduced costs. Gen Hosp Psychiatry, 16. pp. 381-384.
- 40) Verbosky LA, Franco KN, Zrull JP (1993). The relationship between depression and length of stay in the general hospital. J Clin Psychiatry, 54. pp. 177-181.
- 41) 伊藤敬雄、山寺博史、黒澤尚、ほか (2002). 高次救命救急センターにおける精神科 consultation-liaison service を開始して 精神科医の果たす役割. Jpn J Gen Hosp Psychiatry Vol. 14. No. 1. pp. 63-74.

- <sup>42)</sup> 白川裕一、宇佐美しおり、高橋教朗、ほか (2011). K 県内の身体疾患を有する入院患者の不安・抑うつ状態と関連要因、精神的ケアニーズとケア満足度、看護師の精神的ケアの実態. 熊本大学医学部保健学科紀要, 7 号. pp. 33-49.
- <sup>43)</sup> 福田和美 井上範江、分島るり子 (2010). 乳がん患者が認知した看護師の共感的な関わりと共感的関わりから生じた患者の変化. 日本看護科学会誌, Vol. 30. No. 4. pp. 46-55.
- <sup>44)</sup> 大堀洋子、有賀悦子、高宮祐介、ほか (2004). 急性期と終末期患者が混在する環境で働く看護師のストレスに関する検討ー「大学病院の緩和ケア病棟のあり方を探る」全国アンケート調査結果からー. 看護展望, Vol. 29. No. 8. pp. 104-110.
- <sup>45)</sup> 坂上百重、渡辺岸子 (2005) 日本の看護における「看護師の感情」に関する研究についての文献検討. 新潟大学医学部保健学科紀要, Vol. 8. No. 1. pp. 49-62.
- <sup>46)</sup> 渡辺孝子、重久加代子、小磯玲子、徳世良重 (2007). 看護師のストレスと業務の専門性との関連. 看護管理, Vol. 17. No. 10. pp. 871-876.
- <sup>47)</sup> 田尾雅夫、久保真人 (1996). バーンアウトの理論と実際、誠信書房.
- <sup>48)</sup> 朝倉京子、川合美奈子、渡邊生恵 (2011). 看護師の離職理由に関する記述的研究ー「結婚、出産、進学」の影に隠れた理由に着目してー. 日本看護学会論文集：看護管理, 41 号. pp. 103-105.
- <sup>49)</sup> 川島みどり、岩井郁子、長尾真澄、ほか (1986). 看護婦が“問題”と感じるとき 日常の看護における「お手上げ」状況とは (特集：座談会). 看護実践の科学, Vol. 4. pp. 18-19.
- <sup>50)</sup> 川名典子 (1990). 看護婦からみた患者の了解不能性の分析. 看護研究, Vol. 23. No. 3. pp. 305-316.
- <sup>51)</sup> 川名典子 (1990). 症例報告にみる了解不能患者と看護介入の特徴ー誌上発表された 101 症例の分析ー. 日本看護科学会誌, Vol. 10. No. 3. pp. 112-113.
- <sup>52)</sup> 南裕子 (1991). 精神的に了解困難な一般病棟患者に対するリエゾン精神看護学の教育と実践のモデル開発. 平成 1, 2 年度文部科学研究補助金研究成果報告.
- <sup>53)</sup> 大津聡美 (2011). 総合病院看護師の身体・精神合併症患者への対応の困難な要因 過去 6 年間の文献レビュー. 日本精神科看護学会, Vol. 54. No. 3. pp. 221-225.
- <sup>54)</sup> 野末聖香編 (2004), リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために. 医歯薬出版株式会社. p. iv.
- <sup>55)</sup> 同上書. p. v.
- <sup>56)</sup> 同上書. p. 5.

- 57) 同上書. p. 5.
- 58) 宇佐美しおり (2010). 精神看護専門看護師の役割と活動. 病院・地域精神医学. Vol. 52. No. 3. pp. 205-207.
- 59) 紺井理和 (2010). リエゾンナースとしての役割と活動. 病院・地域精神医学. Vol. 52. No. 3. pp. 208-210.
- 60) 大谷恵 (2005). アルコール性臓器障害患者に対するリエゾン精神看護師の役割. アデクション看護, Vol. 2. No. 1. pp. 62-66.
- 61) 金子眞理子 (2009). ストレスマネジメントを目的としたリエゾン精神看護介入法の作成と評価 炎症性腸疾患を抱える人々へのリラクゼーション・認知行動療法. 日本看護科学会誌, Vol. 29. No. 3. pp. 76-84.
- 62) 西川律子 (2009). 治療初期にある初発乳がん患者に対する支持的精神療法の実践. 東京女子医科大学看護学会誌 Vol. 4. No. 1. pp. 7-17.
- 63) 安藤 光子 (2010). 精神的援助に抵抗を示した肥満症治療患者へのリエゾン精神看護専門看護師の介入. 日本肥満症治療学会学術集会プログラム・抄録集 3 回. pp. 137-
- 64) 宇佐美しおり、福嶋好重、野末聖香、ほか (2009). 慢性疾患で精神症状を呈する患者への地域精神科医療モデル事業およびその評価ー精神看護専門看護師とリエゾン・チームの役割ー. 熊本大学医学部保健学科紀要, Vol. 5. pp. 9-18.
- 65) 精神看護専門看護師の活動の効果に関する研究プロジェクト (2001). 精神看護専門看護師の活動の効果に関する研究. 平成 12 年度社団法人日本看護協会研究報告書.
- 66) 野末聖香ほか (2002). 精神看護専門看護師の直接ケア技術の開発及び評価に関する研究. 平成 13 年度厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業研究報告書.
- 67) 宇佐美しおりほか (2003). 精神看護専門看護師の活動成果に関する研究. 平成 14-15 年度社団法人日本看護協会研究報告書.
- 68) 前掲論文 <sup>50)</sup>
- 69) 前掲論文 <sup>49)</sup>
- 70) 前掲論文 <sup>52)</sup>
- 71) 前掲論文 <sup>53)</sup>
- 72) 木戸奈緒美、岡浦真心子 (2012). 一般科病棟看護師が精神障がい者に抱く思いと今後の課題 病院内における精神障がい者への理解とよりよい看護の提供に向けて. 日本精神科看護学会誌, Vol. 55. No. 1. pp. 396-397.

- <sup>73)</sup> 揚石怜子、桑原昌子、佐藤寿江、ほか (2011). 一般科病棟看護師の精神障がい者に対する意識について. 日本看護学会論文集：精神看護, Vol. 41. pp. 40-42.
- <sup>74)</sup> 新谷由加里、東千夏、佐藤達也、ほか (2011). 一般科病棟看護師が統合失調症患者を看護した経験に関する実態調査. 日本看護学会論文集：精神看護, Vol. 41. pp. 138-141.
- <sup>75)</sup> 村上仁美、川石文子、土田奉美、ほか (2010). 一般病棟看護師のせん妄患者への対応と精神科医の介入に対する意識調査. 日本精神科看護学会誌, Vol. 53. No. 3. pp. 130-134.
- <sup>76)</sup> 富原麻乃、田場真由美、栗栖瑛子 (2007). 一般病棟における精神看護に関する意識とそのサポート体制の実態調査 - 病棟看護師へのアンケート調査より -. 日本看護学会論文集：看護総合, Vol. 38. pp. 226-229.
- <sup>77)</sup> 田中愛子、佐藤美幸、作田裕美、高野静香 (2006). 末期がん患者の精神症状に対するケアの研究. 山口県立大学大学院論集, Vol. 7. pp. 89-93.
- <sup>78)</sup> 西野弘員、佐藤美幸、田中愛子、ほか (2005). 精神的ケアに対する一般科看護師の感情とケアへの不安 - 精神科経験による差異 -. 日本看護学会論文集：精神看護, Vol. 36. pp. 234-236.
- <sup>79)</sup> 佐藤美幸、田中愛子、高野静香、作田裕美 (2005). 精神科的問題を抱える患者への看護師の対応に関する調査. 病院管理, Vol. 42. No. 4. pp. 493-501.
- <sup>80)</sup> 秦幸子、小野奈緒美、小林喜江 (2004). 看護師の精神科看護に対する認識の現状と今後の方向性 - 精神科勤務経験者と未経験者の意識調査の比較から -. 日本看護学会論文集：精神看護, Vol. 35. pp. 118-120.
- <sup>81)</sup> 東正伸、入江栄一、北晶子、ほか (2001). 大学病院一般病棟の看護婦は精神障害者をどうとらえているか. 精神看護 Vol. 4. No. 3. pp. 82-85.
- <sup>82)</sup> 岩井美知代、河浦恭子、山越千恵、猪上由美子 (2001). 看護婦は“困った患者”をどう捉えているのか - リハビリテーション病院における看護婦の認識を分析して -. 日本看護学会論文集：看護総合, Vol. 32. pp. 96-98.
- <sup>83)</sup> 乙村優、徳川早知子 (2011). 一般病棟で認知症高齢者とのかかわる看護師の困難. 日本精神科看護学会, Vol. 54. No. 3. pp. 114-118.
- <sup>84)</sup> 松尾香奈 (2011). 一般病棟において看護師が体験した認知症高齢者への対応の困難さ. 日本赤十字看護大学紀要, No. 25. pp. 103-110.
- <sup>85)</sup> 室脇千里、胡美恵、藤原真利子、小嶋美幸 (2010). 認知症高齢者にみられる対応困難な行動や症状に対する看護師の捉え方とその対応. 日本看護学会論文集：老年看護

護, Vol. 41. pp. 152-155.

<sup>86)</sup> 油野規代、泉キヨ子、平松知子 (2010). 認知症を伴う大腿骨頸部骨折患者に関わる整形外科看護師の対応困難な場面における臨床判断. 金沢大学つるま保健学会誌, Vol. 34. No. 1. pp. 91-99.

<sup>87)</sup> 伊藤真美、猪原麻由、中野美弥子、ほか (2009). 不穏症状のある患者に関わる 2～3 年目の看護師のジレンマ. 国立高知病院医学雑誌, Vol. 17. pp. 101-105.

<sup>88)</sup> 野中恵美、小林淑子、松波美紀 (2009). 一般病棟の病棟看護師と認知症高齢患者との意思疎通の実態. 日本看護学会論文集：老年看護, Vol. 40. pp. 105-107.

<sup>89)</sup> 坂下恵美子 (2008). 終末期患者の看取り経験の中に存在する看護師の心の壁の検討. 愛媛県立医療技術大学紀要, Vol. 5. No. 1. pp. 25-31.

<sup>90)</sup> 松田芳美 (2008). 自己否定的感情を表出するがん患者への新人看護師の感情と対応. 日本がん看護学会誌, Vol. 22. No. 2. pp. 34-40.

<sup>91)</sup> 柴田久美子、太田陽子、大野清子、三輪峰子 (2007). 対応困難な切迫早産妊婦に対する看護者のストレス分析. 岐阜県母性衛生学会雑誌, Vol. 37. pp. 23-30.

<sup>92)</sup> 小原千枝、布川加奈子、濱川みさこ (2004). 内科病棟における高齢者のせん妄行動に困難と感じる場面での看護師の心理と行動. 日本看護福祉学会誌, Vol. 10. No. 1. pp. 48-49.

<sup>93)</sup> 安藤幸子、山下裕紀、鶴川晃、ほか (2003). 患者との関わりにおいて一般病棟の看護師が感じる困った状況. 神戸市看護大学紀要, Vol. 7. pp. 45-54.

<sup>94)</sup> 佐藤順子、佐々木由美、水津綾子 (2004). 大学病院一般病棟看護師の精神障害者に対する意識調査 - 第 1 報 -. 聖マリアンナ医科大学病院看護部看護研究集録, 12, pp. 13-15.

<sup>95)</sup> 水島恵一 (1988). イメージ心理学. 人間性心理学体系, pp. 1-25. 大日本図書. <sup>96)</sup> 前掲論文 <sup>49)</sup>

<sup>97)</sup> 前掲論文 <sup>51)</sup>

<sup>98)</sup> 相馬厚 (2006). 情報収集のための観察ポイント. 精神科看護, Vol. 33. No. 10. pp. 26-31.

<sup>99)</sup> 同上論文.

<sup>100)</sup> 前田和子、三木明子 (2011). 他科から勤務異動した看護師が精神科看護に熟達する経験のプロセス. 精神保健看護学会誌, Vol. 20. No. 2. pp. 1-10.

<sup>101)</sup> 丸石美和、西本すみれ、岸本和巳 (2011). 患者から身体的暴力を受けた後の看護師の感情と対処行動. 日本精神科看護学会誌, Vol. 54. No. 2. pp. 6-10.

<sup>102)</sup> 中宗根房子、池田明子 (2012). 患者による院内暴力に対する看護師の状況判断と対処

行動 - A 病院の看護師 16 名への面接調査から - . 沖縄県立看護大学紀要, Vol. 13. pp. 49-59.

<sup>103)</sup> 深見恵子 (2008). 精神科における「コミュニケーション」を知る 実習で学生が遭遇する場面と教員の対応. 看護教育, Vol. 49. No. 7. pp. 592-595.

<sup>104)</sup> 武井麻子 (2001). 感情と看護 人とのかかわりを職業とすることの意味. pp. 41-42. 医学書院.

<sup>105)</sup> 鬼海典子、井上清子、吉田真弓、ほか (2003). 精神科看護者の患者とのかかわりに関する研究 - 精神科看護者の内省と属性との関連について -. こころの健康, Vol. 18. No. 2. pp. 50-61.

<sup>106)</sup> 三浦善博、久保寛子、吉鶴淳子、林田千秋 (2005). 精神身体合併症看護における困難性に対する看護師の思い. 日本看護学会論文集：精神看護, Vol. 36. pp. 243-245.

<sup>107)</sup> 熊谷亮、井関栄三 (2010). 認知症の身体合併症は適切に治療されているか - 一般病棟における身体拘束の課題を含めて -. 老年精神医学雑誌 Vol. 21. No. 1. pp. 22-26.

<sup>108)</sup> 前掲書 <sup>1)</sup> pp. 150.

<sup>109)</sup> 前掲論文 <sup>51)</sup>

<sup>110)</sup> 宮本真己 (2003). 援助技法としてのプロセスレコードー自己一致からエンパワメントへ. 精神看護出版.

<sup>111)</sup> 柳原清子 (2011). がん終末期における家族看護学の主要概念の整理と最新概念. 家族看護, Vol. 9. No. 1. pp. 11-17.

<sup>112)</sup> 星川理恵、野嶋佐由美、長戸和子 (2009). 家族の問題解決能力を育成する際の看護者の姿勢. 高知女子大学紀要 看護学部編, Vol. 58. pp. 43-51.

<sup>113)</sup> 西川律子 (2012). 精神看護専門看護師の活動. 日本医科大学医学会誌, Vol. 8. No. 3. pp. 228-229.

<sup>114)</sup> 曾根原純子 (2007). 入院患者のうつ 院内での予防と看護ケア 事例：他に主疾患のある患者へのケア. Nursing Today, Vol. 22. No. 14. pp. 22-27.

<sup>115)</sup> 山田雅子、米田昭子、宇佐美しおり、ほか (2009). 専門看護師に期待される機能と成果とは 実践現場からエビデンスを発信する取り組み. Nursing BUSINESS, Vol. 3. No. 12. pp. 32-41.

## 参考文献

- 武用百子 (2011). リエゾンナースと考える 「困りごと」にどうかかわるか. ナースツールズ.
- 福山友紀子 (2010). 一般病棟で働く看護師が終末期患者に対して感じる否定的感情に関する文献レビュー. 聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程課題研究<2009 年度>. 聖路加看護大学.
- 医療経営情報研究所編 (2012). 平成 24 年度診療報酬改定版 施設基準届出の実際と留意点. 経営書院.
- 厚生労働省HP [www.mhlw.go.jp/](http://www.mhlw.go.jp/) [2013-1-18]
- 厚生労働省HP 患者調査 [www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html](http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html) [2013-1-18]
- 三浦貞則編 (1984). リエゾン精神医学 包括的医療の実践. 医歯薬出版株式会社.
- 野末聖香編 (2004). リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために. 医歯薬出版株式会社.
- 坂田三允編 (2004). 精神看護エクスペール 3 身体合併症の看護. 中山書店.
- 谷川恵子 (2012). 精神的苦痛を呈する終末期がん患者への看護ケアを促進する支援：リエゾン精神看護専門看護師の機能に関する文献レビュー. 聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程課題研究<2011 年度>. 聖路加看護大学.
- 精神科医療情報総合サイト e-らぽーる 「精神科リエゾンチーム加算」  
[www.e-rapport.jp](http://www.e-rapport.jp) > [精神科医療制度・法律](#) [2013-1-18]
- 宇佐美しおり、野末聖香編 (2009). 精神看護スペシャリストに必要な理論と技法. 日本看護協会出版会.
- 山本沙織 (2012). リエゾン精神看護における倫理調整に関する英文献のレビュー. 聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程課題研究<2011 年度>. 聖路加看護大学.